

機 械 受 注 統 計 調 査 報 告

平 成 19 年 11 月 実 績



平 成 20 年 1 月

内閣府経済社会総合研究所
景 気 統 計 部

目 次

平成19年11月の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向（季節調整値）	1
(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1

<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
------------------------	---

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	7
-----------------------------	---

統 計 表	9
-------	---

（ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

昭和62年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

平成17年4月調査より、日本標準産業分類の改訂（平成14年10月施行）に準拠して、需要者の産業分類等を変更した。なお、公表については、季節調整に必要なデータが蓄積されるまでの当分の間、従来分類と接続可能な移行表章による（巻末の対照表を参照）。この間、新産業分類による計数は統計表のなかで参考表章する。

（ 使 用 上 の 注 意 ）

1. 平成元年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
2. 本調査は、毎年3月調査の時点で季節調整値の改訂を行っている。季節調整方法は、平成17年4月調査よりセンサス局法X-11 からX-12-ARIMA 中のX-11 に移行した。

（季節調整方法として、X-12-ARIMA を用いることを検討したが、その方法では季節調整値の安定性の点で改善がみられなかった。ただし、X-12-ARIMA 中の X-11 パートが改良されていることを考慮し、その X-11 パートを用いることとした。）

3. 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。

平成 19 年 11 月の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向（季節調整値）

最近の機械受注の動向をみると、受注総額は、19 年 10 月前月比 18.7%増の後、11 月は同 5.9%減となった。

需要者別にみると、民需は、10 月前月比 10.1%増の後、11 月は同 1.3%増となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、10 月前月比 12.7%増の後、11 月は同 2.8%減となった。内訳をみると製造業が同 1.7%減、非製造業（船舶・電力を除く）が同 3.1%増であった。

また、官公需は、10 月前月比 21.6%増の後、11 月は「その他官公需」、運輸業で減少したものの、地方公務、国家公務等で増加したことから、同 11.7%増となった。

一方、外需は、10 月前月比 16.0%増の後、11 月は重電機で増加したものの、原動機、産業機械等で減少したことから、同 18.4%減となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、10 月前月比 13.5%増の後、11 月は電子・通信機械、原動機で増加したものの、重電機、道路車両等で減少したことから、同 6.5%減となった。

(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値）

製造業からの受注を前月比でみると、合計では、10 月 10.2%増の後、11 月は 1.7%減となった。

11 月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは 15 業種中、造船業（52.0%増）、非鉄金属（45.1%増）、石油・石炭製品工業（8.3%増）等の 4 業種で、窯業・土石（33.2%減）、化学工業（31.5%減）、金属製品（24.5%減）、鉄鋼業（13.5%減）、「その他輸送機械工業」（12.8%減）、紙・パルプ工業（8.4%減）等の 11 業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比でみると、合計では、10 月 8.8%増の後、11 月は 4.8%増となった。

11 月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは 8 業種中、通信業（48.4%増）、運輸業（21.8%増）、電力業（12.9%増）等の 4 業種で、金融・保険業（17.3%減）、農林漁業（15.6%減）、鉱業（8.9%減）等の 4 業種は減少となった。

(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）

11 月の販売額は 2 兆 6,406 億円（前月比 1.3%増）で、前 3 か月平均販売額は 2 兆 4,697 億円（同 0.9%減）となり、受注残高は 26 兆 5,541 億円（同 1.0%増）となった。この結果、手持月数は 10.8 か月となり、前月差で 0.2 か月増加した。

第1表 主要需要者別機械受注額

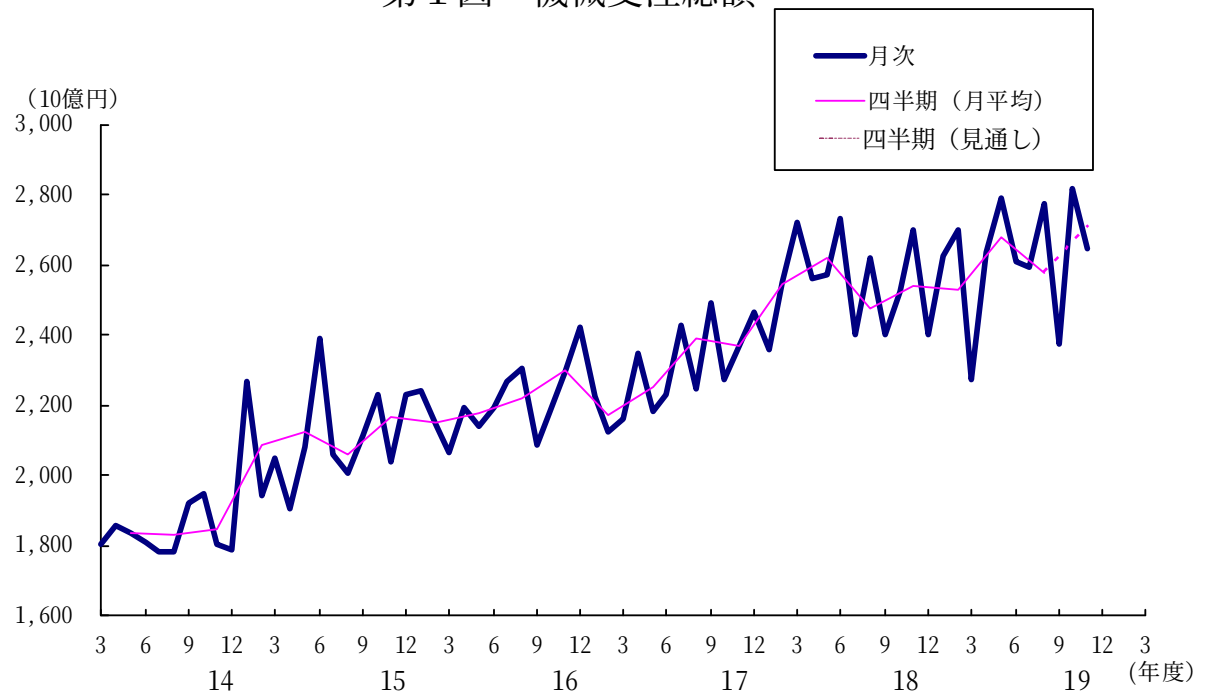
(単位：億円，%)

期・月 需要者	平成18年 10～12月	19年 1～3月	4～6月	7～9月	19年 8月	9月	10月	11月
受 注 総 額	76,235 (2.7) [6.7]	75,956 (-0.4) [-5.0]	80,321 (5.7) [1.7]	77,395 (-3.6) [3.6]	27,755 (7.1) [6.2]	23,720 (-14.5) [-1.6]	28,150 (18.7) [10.9]	26,480 (-5.9) [-1.4]
民 需	34,262 (-1.6) [-0.9]	33,985 (-0.8) [-7.0]	33,754 (-0.7) [-9.7]	34,762 (3.0) [-1.5]	11,626 (-5.7) [0.7]	10,809 (-7.0) [-8.1]	11,897 (10.1) [5.5]	12,054 (1.3) [5.3]
// (船舶・電力を除く)	31,396 (0.3) [-1.6]	31,185 (-0.7) [-3.3]	30,439 (-2.4) [-10.8]	31,197 (2.5) [-1.4]	10,375 (-7.7) [-2.6]	9,587 (-7.6) [-7.0]	10,803 (12.7) [3.3]	10,498 (-2.8) [0.9]
製 造 業	14,500 (-2.8) [3.1]	14,301 (-1.4) [-1.3]	13,733 (-4.0) [-10.9]	14,109 (2.7) [-5.5]	4,478 (-8.6) [-11.0]	4,733 (5.7) [-5.7]	5,215 (10.2) [10.3]	5,125 (-1.7) [4.6]
非 製 造 業 (船舶・電力を 除く)	17,028 (4.0) [-5.3]	16,843 (-1.1) [-4.7]	16,862 (0.1) [-10.8]	17,135 (1.6) [2.4]	5,885 (-7.6) [5.0]	4,877 (-17.1) [-8.0]	5,545 (13.7) [-1.4]	5,715 (3.1) [-0.9]
官 公 需	6,852 (-3.1) [-12.5]	7,679 (12.1) [-11.4]	9,086 (18.3) [23.7]	6,704 (-26.2) [-7.3]	2,441 (7.3) [4.0]	1,987 (-18.6) [-13.1]	2,415 (21.6) [9.3]	2,697 (11.7) [13.5]
外 需	31,580 (6.8) [21.7]	31,985 (1.3) [-0.9]	33,804 (5.7) [13.3]	33,044 (-2.2) [11.8]	12,081 (23.0) [10.8]	11,142 (-7.8) [11.0]	12,920 (16.0) [18.6]	10,536 (-18.4) [-9.2]
代 理 店	3,443 (8.8) [6.2]	3,086 (-10.4) [-1.9]	3,428 (11.1) [-3.7]	3,296 (-3.8) [3.6]	1,275 (22.4) [18.5]	978 (-23.3) [-4.6]	1,111 (13.5) [0.2]	1,038 (-6.5) [-11.2]

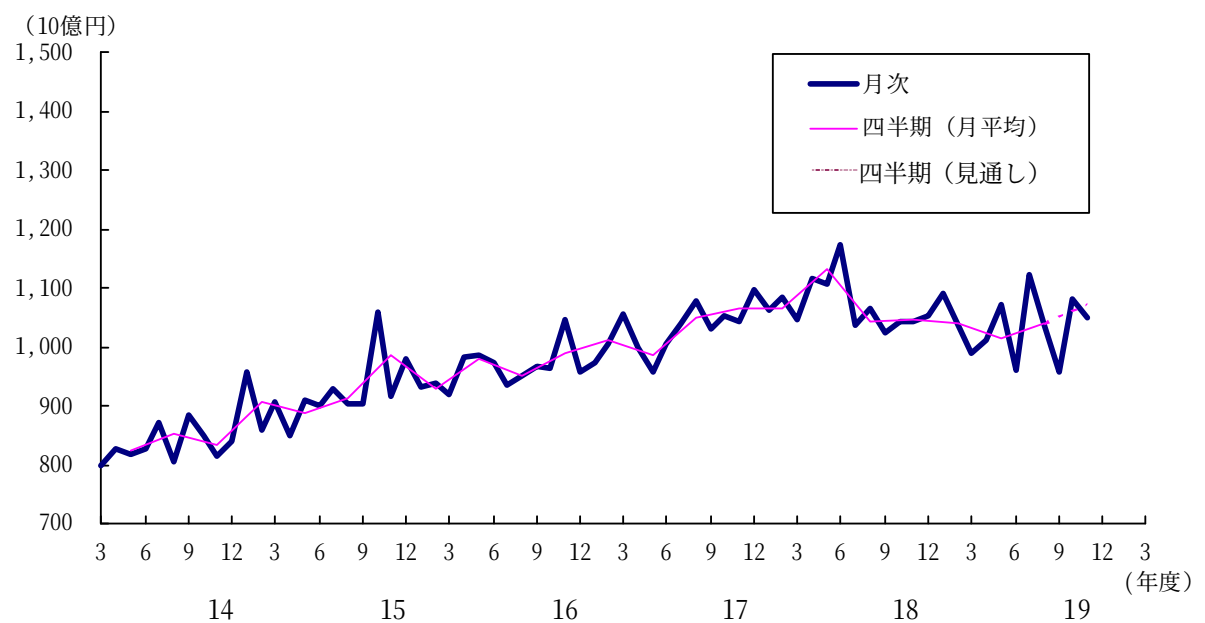
(備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



（備考）

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば10～12月の月平均値は11月の位置に表示)。
2. 四半期（見通し）の19年10～12月は「見通し調査（19年9月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。

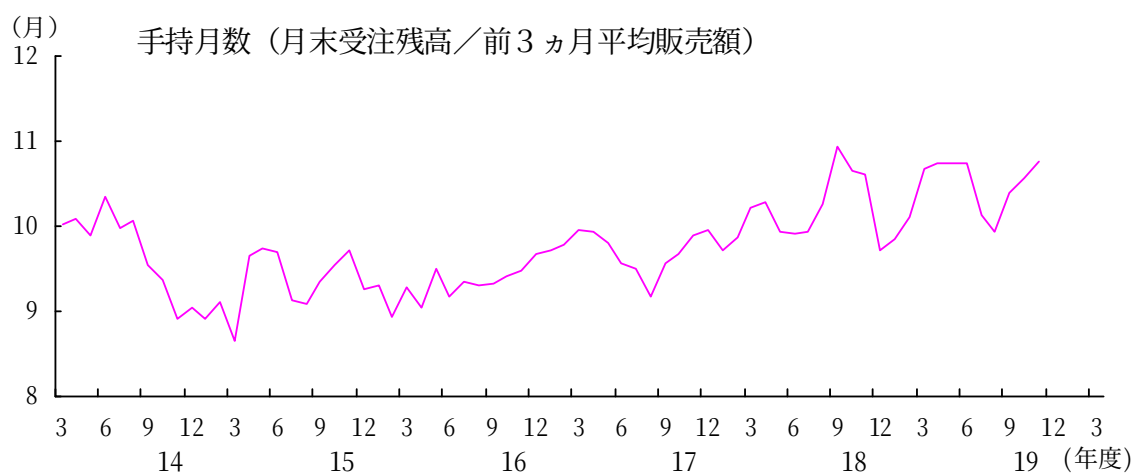
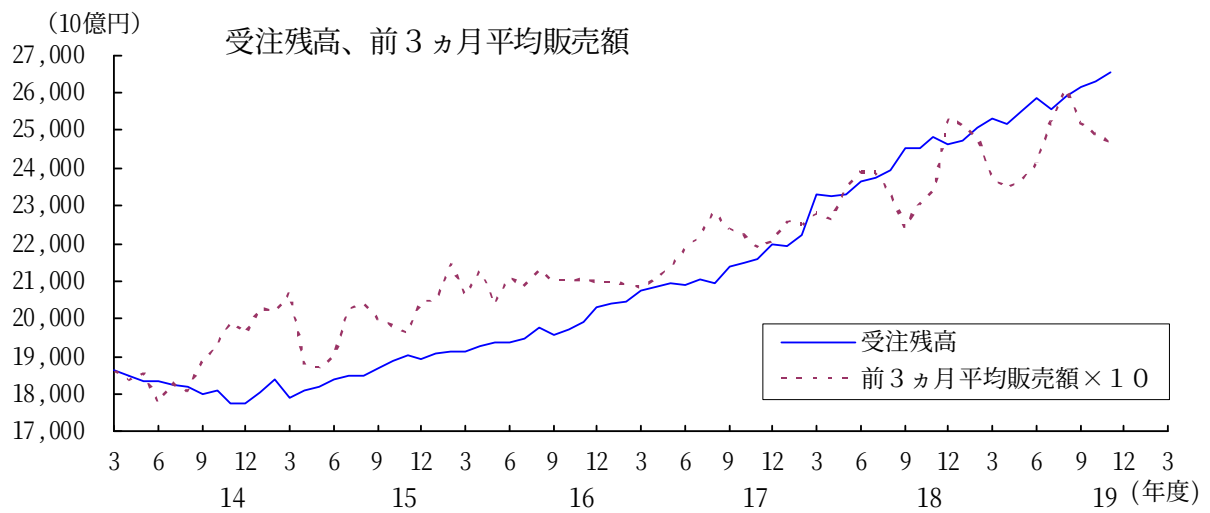
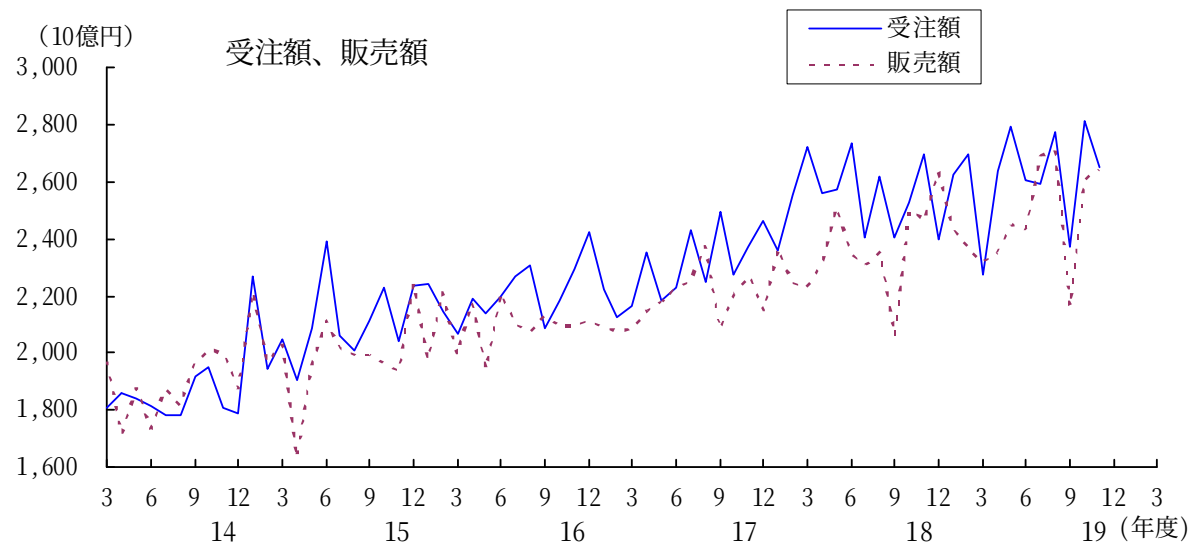
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

期・月 需 要 者	平成18年 10～12月	19年 1～3月	4～6月	7～9月	19年 8月	9月	10月	11月
I 製 造 業 計	-2.8	-1.4	-4.0	2.7	-8.6	5.7	10.2	-1.7
1 織 維 工 業	42.4	54.6	-73.8	103.8	6.3	6.2	-10.0	-1.1
2 紙 ・ パ ル プ 工 業	63.2	-43.4	-18.2	21.0	-14.4	-39.6	59.3	-8.4
3 化 学 工 業	-18.6	-7.4	16.8	-2.6	-5.8	-24.9	70.3	-31.5
4 石 油 ・ 石 炭 製 品 工 業	122.6	-5.3	-11.8	-2.8	-25.7	545.3	-67.2	8.3
5 窯 業 ・ 土 石	21.2	-14.5	-3.4	14.4	63.2	-3.5	28.6	-33.2
6 鉄 鋼 業	-4.9	-0.2	62.5	-13.1	-12.4	15.5	8.6	-13.5
7 非 鉄 金 属	2.8	32.6	-38.4	37.4	51.0	-21.2	-9.2	45.1
8 金 属 製 品	-16.5	21.1	-2.1	-8.8	-12.6	-12.9	50.9	-24.5
9 一 般 機 械	-8.4	-3.9	12.8	-2.8	4.3	-9.6	9.2	-4.0
10 電 気 機 械	-5.9	-3.4	-13.3	-0.7	-18.2	-1.1	21.8	4.6
11 自 動 車 工 業	-11.4	1.5	5.2	3.2	7.1	-8.5	4.4	-0.5
12 造 船 業	22.6	-33.8	50.7	-17.3	-6.7	-32.9	117.1	52.0
13 そ の 他 輸 送 機 械 工 業	-8.2	27.0	-11.0	-14.7	-9.9	7.9	19.8	-12.8
14 精 密 機 械	13.4	-15.8	-10.7	13.7	-21.1	-9.6	43.8	-8.4
15 「 そ の 他 製 造 業 」	0.0	8.5	-10.0	4.8	-11.1	17.7	-0.4	-13.4
II 非 製 造 業 計	-0.4	-0.3	2.6	2.3	-3.6	-14.8	8.8	4.8
16 農 林 漁 業	-6.1	8.5	-1.4	-9.5	1.5	-17.2	17.4	-15.6
17 鉱 業	-16.9	27.2	-11.2	112.7	-88.3	37.2	17.4	-8.9
18 建 設 業	0.6	-4.4	21.4	-7.2	-1.1	-12.3	9.6	11.4
19 電 力 業	-3.7	-9.7	20.9	3.8	44.6	-11.3	-0.2	12.9
20 運 輸 業	-6.8	-1.9	-18.3	37.3	11.6	-35.5	45.2	21.8
21 通 信 業	8.5	2.5	-8.0	5.2	-1.7	-21.4	-8.6	48.4
22 金 融 ・ 保 険 業	21.4	-13.8	14.6	-13.7	-25.5	-18.8	59.0	-17.3
23 「 そ の 他 非 製 造 業 」	4.8	-1.9	3.6	-5.0	-12.0	-9.4	16.0	-10.8

- (備考) 1. 季節調整系列の対前期(月)増減率。
2. 「電気機械」には、「情報通信機械」を含む。
3. 「その他製造業」には、「新聞・出版業」、「食品工業」、「ゴム・皮革」を含む。
4. 「その他非製造業」には、「卸・小売業」、「不動産業」、「情報サービス業」、「リース業」を含む。

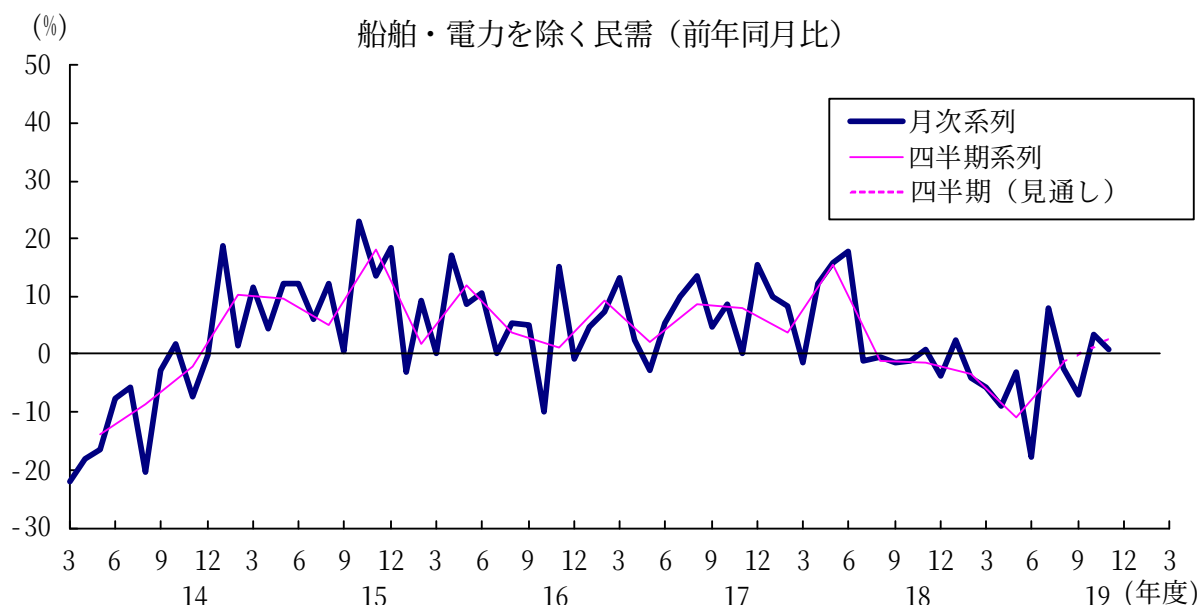
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数
(総額、季節調整値)



<参考 1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

19 年 11 月の受注総額は、2 兆 4,473 億円で前年同月比 1.4% 減、「船舶を除く総額」では同 5.6% 増となった。

第 4 図 機械受注額の動向



（備考）四半期（見通し）の19年10～12月は「見通し調査（19年9月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は1兆1,307億円で前年同月比5.3%増（船舶を除くと同2.3%増、船舶・電力を除くと同0.9%増）、官公需は1,966億円で同13.5%増、外需は1兆177億円で同9.2%減、また、代理店は1,023億円で同11.2%減となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比4.6%増となった。これを業種別に前年同月比でみると、15業種中、造船業（90.6%増）、非鉄金属（56.4%増）、鉄鋼業（40.0%増）、一般機械（11.5%増）、自動車工業（11.0%増）等の8業種が増加となった。反面、石油・石炭製品工業（65.6%減）、紙・パルプ工業（31.2%減）、繊維工業（15.9%減）、精密機械（10.7%減）等の7業種は減少となった。

また、非製造業からの受注は、前年同月比5.8%増となった。これを業種別に前年同月比でみると、8業種中、運輸業（31.4%増）、電力業（21.3%増）、建設業（15.0%増）等の5業種で増加となった。反面、農林漁業（9.5%減）、金融・保険業（8.6%減）等の3業種は減少となった。

<参考 2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

19 年 11 月の受注額を機種別に前年同月比でみると、航空機（45.8%増）、道路車両（21.9%増）、原動機（15.3%増）、工作機械（12.0%増）、産業機械（4.8%増）、重電機（2.8%増）及び電子・通信機械（1.4%増）で増加となった。反面、船舶（34.0%減）及び鉄道車両（6.6%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比 1.4%減となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比でみると、船舶（775.8%増）、原動機（20.6%増）、重電機（16.8%増）、道路車両（16.0%増）、工作機械（4.0%増）及び電子・通信機械（2.4%増）で増加となった。反面、航空機（38.1%減）、鉄道車両（20.1%減）及び産業機械（4.7%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比 5.3%増となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

（単位：％）

	平成18年 10～12月	19年 1～3月	4～6月	7～9月	19年 8月	9月	10月	11月
民 需 総 額	-0.9	-7.0	-9.7	-1.5	0.7	-8.1	5.5	5.3
原 動 機	12.5	-31.5	4.5	-8.5	19.4	-13.7	23.5	20.6
重 電 機	13.7	-10.1	-6.3	18.2	35.8	7.3	5.8	16.8
電子・通信機械	-4.6	-5.0	-10.0	-3.5	-5.5	-12.4	-3.9	2.4
産 業 機 械	3.2	0.1	-3.9	2.4	-1.4	1.1	4.4	-4.7
工 作 機 械	-13.4	-2.3	-6.1	-1.7	-6.8	9.5	13.9	4.0
鉄 道 車 両	33.9	3.0	-61.0	16.2	147.3	-18.9	87.5	-20.1
道 路 車 両	-23.0	0.5	-23.5	-10.1	-18.5	9.0	18.5	16.0
航 空 機	-9.3	9.7	3.6	-31.4	76.0	-47.4	47.3	-38.1
船 舶	-43.6	35.2	-26.0	-29.3	-54.8	-59.6	453.1	775.8

（備考）原系列による対前年同期（月）増減率。

(2) 販売額

11 月の販売額を機種別に前年同月比でみると、原動機（48.2%増）、鉄道車両（21.9%増）、産業機械（12.7%増）、工作機械（11.6%増）、道路車両（10.6%増）、重電機（6.2%増）、船舶（5.9%増）及び航空機（0.1%増）で増加となった。反面、電子・通信機械（1.2%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比 7.2%増となった。

(3) 受注残高

11 月の受注残高を機種別に前年同月比でみると、道路車両（27.8%増）、船舶（18.1%増）、原動機（11.8%増）、工作機械（11.4%増）、電子・通信機械（6.7%増）及び重電機（4.4%増）で増加となった。反面、鉄道車両（4.9%減）、航空機（1.6%減）及び産業機械（1.5%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比 7.0%増となった。

2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

(1) 鉄構物

11 月の受注額は、133 億円で前年同月比 29.9%減、販売額は、159 億円で同 45.5%減、受注残高は、5,665 億円で同 10.6%減となった。

(2) 軸受

11 月の受注額は、590 億円で前年同月比 2.8%増、販売額は、615 億円で同 5.7%増、受注残高は、2,031 億円で同 21.0%増となった。

(3) 電線・ケーブル

11 月の受注額は、1,430 億円で前年同月比 4.3%増、販売額は、1,496 億円で同 8.0%増、受注残高は、1,143 億円で同 4.1%増となった。

機械受注実績調査統計表 目 次

〔 グ ラ フ 〕

第1図 主要需要者別受注額	-----	10
第2図 主要業種別受注額	-----	13
第3図 主要機種別受注額	-----	17

〔 計 数 表 〕

需要者別受注額（季調系列）	-----	18
機種別受注残高手持月数（季調系列）	-----	23
需要者別受注額（原系列）	-----	24
機種別受注額（ 〃 ）	-----	29
機種別販売額（ 〃 ）	-----	33
機種別受注残高（ 〃 ）	-----	37
機械受注統計調査結果表（平成19年11月実績）	-----	41
（参考）新産業分類表		
機械受注統計調査結果表（平成19年11月実績）	-----	45
（別紙）		
調査項目と移行期分類	-----	49